# さいたま市立浦和中学校　２学年　理科　「天気とその変化」

## 電子情報ボード（インターネットコンテンツ）を活用した指導

**１　単元名**

「大気の動きと日本の天気」

**２　活用場面**

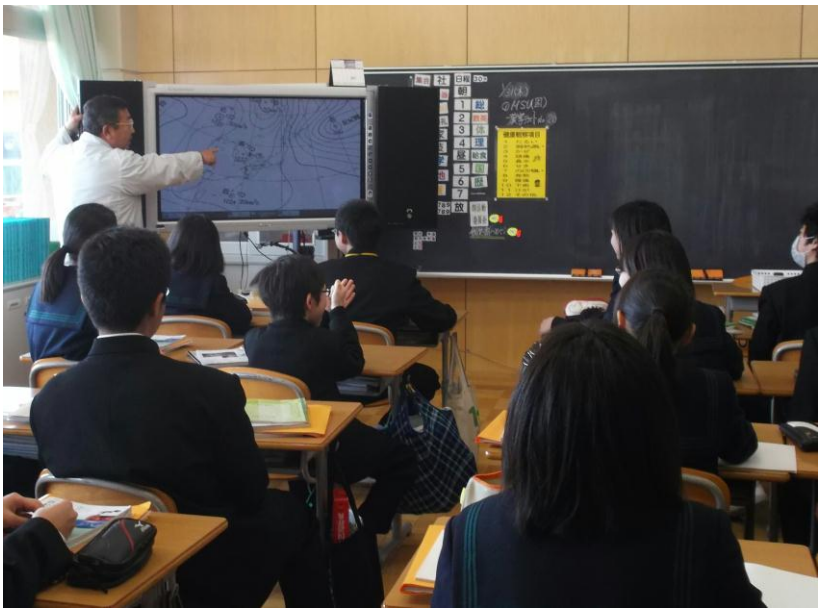
導入および展開時

**３　活用のねらい**

①　導入時に今日の天気図の解説を行うことにより，今現在の天気と天気図との関連について関心を高めさせる。

②　最近起こった特徴的な気象現象時の連続した天気図と気象衛星の画像によって，より身近な現象であることを実感させる。

③　「理科ねっとわーく」のコンテンツを積極的に活用することによって効率のよい理解を促す。



気象庁ＨＰを活用し，「今日の天気図」の解説

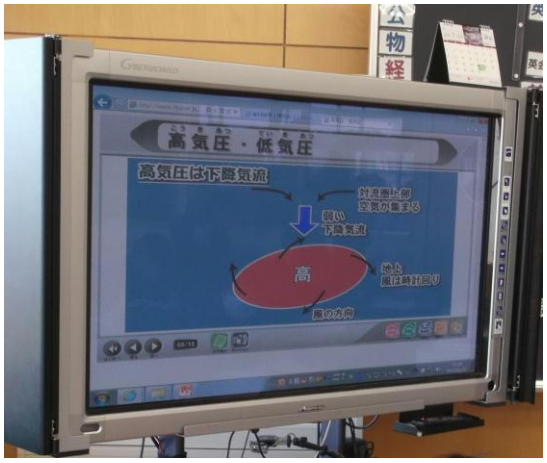
**４　活用のポイント**

**（１）　現在の天気と天気図がリンク**

○　毎時間，授業の開始時に現在窓の外で起こっている気象現象の原因について，現況天気図を提示してその概況を解説をすることによって気象現象に対する関心を高めるとともに，天気図の有用性について理解させることができる。

○　天気の学習時はもとより，ことあるごとに気象庁のホームページにある天気図や気象衛星による画像，地震情報等のコンテンツを提示ならびに解説を行うことによって，自然現象について関心を高めさせることができる。

**（２）　シミュレーションで効率よく指導**




○　最近起こった特徴的な気象現象時の天気図ならびに気象衛星の画像を気象庁のホームページよりダウンロードして蓄積し，プレゼンテーションソフトで動画風の連続画像にする。記憶にある気象現象について，天気図と衛星写真とともに提示することによって，より印象深い記憶として留めさせることができる。

○　科学技術振興機構が運営する「理科ねっとわーく」内の各コンテンツを積極的に活用することによって板書や説明だけではイメージしづらい内容についても，シミュレーション等を試聴させることによって効率よく理解させることができる。

**５　成果と課題**

○　電子情報ボードとインターネット上のコンテンツを積極的に活用することによって，生徒の自然の事物・現象についての関心を高め，理解を促進させることができた。

○　使いたいと思ったときにすぐ使える道具としてのＩＣＴ機器であることが大切であり，そのための環境の整備がとても重要である。